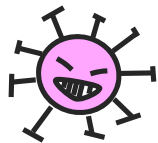


# 感染症に気をつけよう!!



## 横浜市内 感染症 流行状況

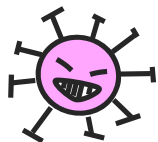
2024年10月号

横浜市衛生研究所



感染症	流行状況		説明 <small>【関連リンク】</small>
百日咳	(全数報告)	増加	7月上旬から散発、8月以降患者数が増加しつつある
伝染性紅斑	やや流行	増加	5月以降増加傾向、例年の同時期に比べて患者数は多い
マイコプラズマ肺炎	流行	増加	5月下旬～6月までは散発だったが7月以降は毎週報告あり
腸管出血性大腸菌感染症	(全数報告)	横ばい	7月に入ってから患者数が増加、幅広い年代で報告あり
手足口病	流行	横ばい	7月に大流行、8月以降落ち着くかに見えたが9月以降再び大流行 <small>【臨時情報】</small>
新型コロナウイルス感染症	流行	減少	7年半ばにピークを迎えて以降、患者数は徐々に減少
梅毒	(全数報告)	横ばい	20～50歳代が中心だがあらゆる年代で報告あり、10歳代や妊婦の事例も <small>【政府広報 動画】【無料・匿名検査】</small>

<参考HP> 厚生労働省 国立感染症研究所



## 感染症を広げないために……



咳などが出るときは  
マスクをする



タオルの共用は  
避ける



具合が悪いときは  
無理をせず休む